

消防職員活動服（オールシーズン）
仕様書

交野市消防本部

1. 概要

この仕様は、交野市消防本部における活動服について定める。

2. 総則

- (1) 当活動服の製作に要する費用は、当初に契約したとおりとする。
- (2) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3) 各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (4) 製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが確認できるようにし納品すること。
- (5) 契約後速やかに紡績メーカーが発行した出荷済証明書を提出すること。
- (6) 仕様書の内容を納入者の解釈にて勝手に変更してはならない。
- (7) この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。
- (8) 採寸は、サイズ表による試着ゲージを提出し、各人によりサイズを決定するものとする。
- (9) 仕様書内縫製上の数値は全て約表記とする。

3. 参考商品及び数量

メーカー：(株)イマジョー製

TX9280	活動服上衣	63枚
TX9281SP	活動服ズボン	63本

4. 納期

令和8年12月28日

5. 納品場所

消防本部、他指示する場所

6. 形式

(1) 上衣

立体裁断及び立体縫製、スタンドカラーフルジップ式、衿トリミング入り、両胸ファスナー式アウトポケット、左右胸ヨーク切り替え、肩章付き、カフス付きファスナー止め、背ヨーク切り替え、背中切り替え蓄光パイピング挟み込み、両肩部切り替え蓄光パイピング挟み込み、階級章台付き、名札台付、左胸刺繍、裾シャツ型、背プリント入り、シリコンワッペン台座付

(2) 下衣

立体裁断及び立体縫製、ワンタック、左右脇ポケット、左右両退部ファスナー式切ポケット、左上前ファスナー開き前カン止め、ベルトループ7本（両脇ツインループ）、左右尻ポケット

7. 材料

(1) 主生地

ア 素材	：	日本毛織株式会社	難燃ストレッチリップストップ	FBR785
イ 混紡率	：	メタ系アラミド	56%	難燃レーヨン 26%
		ポリエステル	15.5%	ポリウレタン 2.5% 導電性繊維混入
ウ 色相	：	紺色		
エ 性能	：	難燃 ストレッチ 吸水 速乾 制菌		

(2) 副生地

ア 素材	：	日本毛織株式会社	難燃ストレッチリップストップ	FBR785
イ 混紡率	：	メタ系アラミド	56%	難燃レーヨン 26%
		ポリエステル	15.5%	ポリウレタン 2.5% 導電性繊維混入
ウ 色相	：	オレンジ色		
エ 性能	：	難燃 ストレッチ 吸水 速乾 制菌		

(3) 資材

品名	規格	使用箇所
芯地	接着芯地	衿、カフス、見返し、玉縁、ポケット口
ファスナー YKK 製	・樹脂製（裏使い） 5.8cm～6.6cm 1.3cm 1.7cm ・金属製／3 Y G 1.6cm～2.2cm	上衣前合わせ ※サイズにより変更 胸ポケット 袖口、カーゴポケット ズボン前合わせ ※サイズにより変更
面ファスナー < B面 / ループ >	2.5cm × 4cm	階級章台座
面ファスナー < B面 / ループ >	2.5cm × 4.0cm	名札台座
面ファスナー < B面 / ループ >	2.0cm × 8.0cm	* 指導救命士台座
面ファスナー < B面 / ループ >	2.5cm × 5.5cm	* 予防技術資格者台座
面ファスナー < B面 / ループ >	指定型	シリコンワッペン台座
面ファスナー < B面 / ループ >	指定型	* 救急救命士台座
蓄光パイピング	L FUC 1 2 0 0	肩切り替え、背ヨーク切り替え、
前カン	金属	ズボン帯前合わせ中心
腰裏	4 cm 巾	ズボン腰裏

* マーク記載の資材については、該当者のみ適応するものとする。

8. 縫製条件

ア. 針 数

3 cm 間で地縫いは12針以上、飾り縫いは12針以上、オーバーロックは8針以上とする。

イ. 穴かがり

ネムリ穴とする。

ウ. ボタン付け

機械付け、又は手付けとする。

手付けは2本の糸を1個の穴に3～4回通し根巻きは3回以上とする。

エ. 裁 縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

縫い糸はテترون糸を使用し、糸始末は丁寧に行うこと。

オ. デザイン

立体構造のものとする。

カ. サイズ

体形に合わせてA体はスリムに、B体は若干のゆとりをもったサイズ構成をとること。

9. 縫製要領

(1) 上衣

ア. 衿

スタンドカラータイプとし、ファスナーは衿先までとする。表裏衿端に副生地で12mm幅のトリミングを入れ周囲にステッチをかける。衿巾は中央で8cm、衿先は巾6cmとし、裏衿腰部分にステッチを6本かけ、衿腰より衿端にはジグザグステッチを9本かける。衿裏にステッチを7本かけた半月型の当て布を衿中央下部に縫い付ける。

イ. 前合わせ

突合わせとしファスナーのムシを見せないように付け、見返し側も同様とする。

ファスナーは、見返しと挟み縫いしダブルステッチを裾までかけ、下ファスナー止まり位置に門止めをする。

ウ. 胸ヨーク

左右前身の胸の辺りで切り替え、上身頃側へステッチをかける。

エ. 肩章

副生地を使用し、巾は5cm（剣先側4cm）先三角形型とし周囲にステッチをかける。肩側は袖付け根に挟み、袖側より4cm入った位置で縫い止め、その間にクロスステッチをかける。肩章先は縫い止めとする。

オ. 胸ポケット

幅16cm、高さ16.5cmの両玉縁ファスナー付きアウトポケットとし、上辺は胸ヨーク切り替えに挟み付けし、周囲はステッチで縫い付ける。ファスナーは閉じて脇側とし、ポケット口の周囲にステッチをかけ両端は門止めをする。左ポケット内側に幅2.5cmのペン差し口を設ける。左胸ポケット内の脇側に4cm×5cmのペン差し用ループ(2本用)を付けること。

カ. 階級台 名札台 左胸刺繍

①階級章台座

階級台は右胸上部に2.5cm×4.0cmの面ファスナーを縫い付ける。

②名札台座

名札台は左胸上部に2.5cm×4.0cmの面ファスナーを縫い付ける。

③消防名刺繍

名札台の0.5cm上に「交野市消防本部」と刺繍を施す。字体は楷書体とし、糸色はオレンジ色とする。

④指導救命士台座

指導救命士に該当する場合、左胸消防名刺繍の0.5cm上に2.0cm×8.0cmの面ファスナーを縫い付ける。

⑤予防技術資格者台座

予防技術資格者に該当する場合、右胸階級章台座の0.5cm上に2.5cm×5.5cmの面ファスナーを縫い付ける。

キ. 背ヨーク（蓄光パイピング入り）

副生地を使用した1枚仕立てVヨークとする。背ヨーク、肩章付け辺り位置で切り替え、蓄光パイピングを挟み縫いし、ヨーク側にステッチをかける。大きさは中心で21cm（サイズにより変動）とする。背ヨーク中央に反射材ネイビー色、角ゴシック体にて指定デザインをプリントする。*詳細は協議の上決定する。

ク. 脇身頃（ベンチレーション式）

脇身頃は裾から脇下まで、脇下から袖口までを続きとし、脇下に重ね布式ベンチレーションホールを設ける。ベンチレーションホールは袖下布を上には脇下身頃と重ね、上下を離し脇線のみで縫い合わせ、前後身頃側にステッチをかける。

ケ. 袖

2枚袖としカフス幅6cmとする。袖口に2本タックを取り、ファスナーを付ける。袖下縫いは脇線から続けてインターロック始末、又は地縫いとオーバーロック始末とする。カフス付け内側始末は、折り曲げ、カフス付け側にダブルステッチをかける。袖開きは玉縁ファスナーとし、袖口カフス手前まで水かきを付ける。立体を持たせる為に袖付け根後部にダーツをとる事とする。右袖、肩切替より8cm下にシリコンワッペン用のワッペン台座を縫い付ける。

*救急救命士に該当する場合、シリコンワッペン用台座ではなく救急救命士台座を縫い付ける。

コ. ペン差し

左袖肩切替より8cm下に2本差しのペン差しを縫い付ける。寸法は深さ約15cm、幅約6cmとする。前側の幅約3.5cmとし、後ろ側の幅を約2.5cmとする。

サ. 後身頃

後身頃は、ヨークと縫い合わせヨーク側へステッチをかける。

シ. 裾

シャツ型とし、三つ折り始末とする。

ス. 片布・品質表示

胸ポケット位置の身頃裏面に付ける。

セ. 衿吊り・サイズ表示

衿吊りは後中心に挟み付け、サイズ表示は衿吊り横に挟み付ける。

(2) 下衣

ア. 前タック

左上前ファスナーあき、左右のウエストにワントックをとり脇側（外向き）に片倒しをする。

イ. 前立て

前立ては芯を入れ、表裏を地縫い返し、見返し裁ち目はオーバーロックをかける。

上前側は、3.5 cm 幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、門止めをする。上前裏にファスナーを2条縫いで縫い付け、下前側はファスナーを挟み縫いする。

ウ. 脇ポケット

左右の両脇に斜め切り替えポケットを付ける。ポケット口の長さ15 cm とし、口の上下端に門止めをし、口にはステッチをかける。向う布の端は、袋布に縫い合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。右ポケットの袋布に小袋を縫い付ける。

エ. カーゴポケット

左右の両脇に上端から29 cm の位置に片玉縁付きファスナー付き切ポケットを設ける。

ポケットの幅は16 cm、深さ20 cm としファスナーは閉じて後ろ側とする。

向う布の端は、袋布に縫い合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。

オ. 後

左右のウエストに各1本のダーツを取り、内側に片倒しをする。後中心の尻縫いは片倒し縫い、裁ち目はオーバーロックをかける。脇線とポケット辺りで切り替え、ウエストベルト付け下から裾まで脇側にステッチをかける。後身を切り替えた中心側の太腿辺りを斜めに切り替え、裾側へステッチをかける。ダーツ、後身、内腿切替え部は臀部の突っ張り感を軽減させるために必要とする。

カ. 後ポケット

玉縁幅1 cm、口の長さ14 cm の片玉縁ポケットを左右に付ける。ポケット口の周囲はステッチをかけ、両端は門止めをする。向う布の端は、袋布に縫い合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。

キ. ウエスマン（腰帯）

幅4 cm とし芯を貼り腰裏にマーベルトを取り付ける。前両端は内側に折り曲げステッチで押さえる。ウエスマン前中心は前立てステッチ幅に合わせてステッチをかけておく。

ファスナー上の腰帯幅中央に前かんを付ける。

ク. ベルトループ（7本）

ベルト通しは幅2 cm、通し巾5.5 cm のループを前タック位置、脇、後ダーツ位置に6本縫い付け、後中心にはループ幅8 cm、両端6 cm、中心部の長さ7.5 cmのホームベース形とし、ループの両端はコバステッチをかける。

左右脇側は幅2 cm、上段通し巾5.5 cm、下段通し巾3 cm とのツインループとし下端にステッチをかけ下段ループの上下に門止めをする。

ケ. シック

下前の持ち出し布下へ棒シック布を縫い代端に縫い止める。

コ. 裾

裾はオーバーロック始末し、シングル仕上げとする。

サ. 脇縫い

後へ片倒しとし、ステッチをかけ裁ち目はオーバーロック始末とする。

シ. 内股縫い

縫い割りし、裁ち目はオーバーロック始末とする。

ス. サイズ表示・品質表示

片布下端に挟む。

セ. 片布

脇ポケット袋布に縫着する。

ソ. 警告ラベル

脇ポケット袋布に縫着する。

タ. 裾仕上げ

裾部に白平ゴムを配し、裾周囲を絞れる調整ゴムを入れる。白平ゴムの開口部はほつれないよう加工を施す。

10. 寸法表 (単位: cm)

上衣サイズ表 (男女共通サイズ)

サイズ	WS	ASS	A S	A M	A L	ALL	A3L	B S	B M	B L	BLL	B3L
バスト	92	96	100	105	110	115	120	110	115	120	125	130
胴 囲	82	88	92	97	102	107	112	107	112	117	122	127
肩 幅	41	43	44	46	48	50	52	48	50	52	54	56
長袖丈	50	51	53	55	57	59	61	51	53	55	57	59
着 丈	72	72.5	73	75	77	79	81	73	75	77	79	81
カラー	36	38	39	40	41	43	45	43	45	47	49	51

下衣サイズ表 (男女共通サイズ)

サイズ	W61	W64	W67	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	B00	B0	B1	B2	B3	B4	B5	B6
ウエスト	61	64	67	70	73	76	79	82	85	88	82	85	88	91	95	100	105	110
ヒップ	93	95	97	98	100	103	106	108	111	114	110	113	116	119	122	125	128	132
股 下	採寸により決定する																	

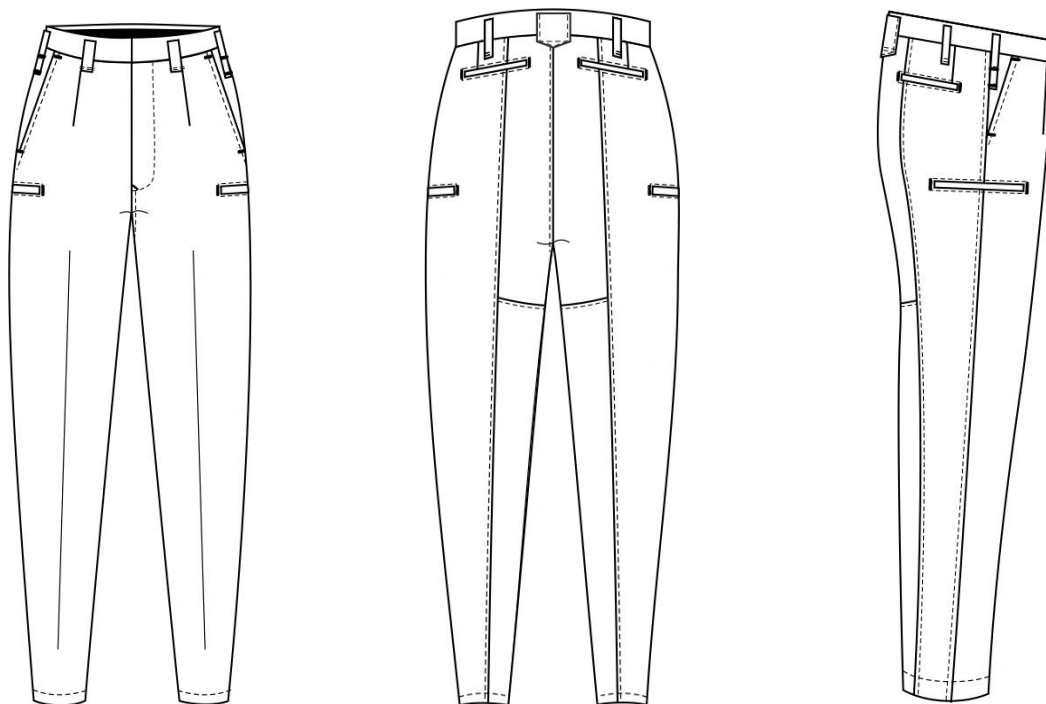
※採寸ゲージは全て股下7.5cm

1 1. 参考図

・上衣



・ズボン



プリント図 * 寸法 : W320mm × H115.6mm

OSAKA
交野市消防本部
KATANO FIRE DEPT.